

25	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102027	建設副産物・廃棄物の GPS による管理と再利用システムの構築	市川 新 (福岡大学・工学部・教授)	B
<p>(意見等)</p> <p>当初の目的について研究需要がなくなつたと認めているにもかかわらず継続し、研究内容を変更している。変更した研究の目的、目標が示されていないので、その進展を記述内容から判断することは困難である。</p> <p>主目的の管理システム(GWMS)は構築されたようだが、その内容、特徴、効果の実証などの記載が論文等にも乏しく、GPS、GIS をどのように活用したか、どの程度のレベルまで開発されたか明確に示されていない。</p> <p>学会発表は基盤 S の 5 年間として少なく、質的にも問題があると思われるので、今後、目的にある世界への情報発信を積極的におこなってほしい。</p>				
26	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102028	要求・保有性能の不確定性を陽に考慮した鋼構造建物信頼性耐震設計法の構築	中島 正愛 (京都大学・防災研究所・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>建築構造物の地震に対する安全性を論じるためには、主に地震動の性質や大きさから求まる要求性能と、構造物の強さや変形能力で表せる保有性能を明らかにする必要がある、両者の比較によって耐震安全性を評価することが出来る。この場合、地震は自然現象であるから要求性能に不確定性があることは言うまでもないが、構造物の保有性能も確定ではなく不確定性をもつことに注意しなければならない。本研究は研究課題名に明快に書かれているように、両者の不確定性を考慮した鋼構造建物の耐震設計法を構築することに取り組んだ意欲的なものである。</p> <p>実大に近い大きさの幾つかの建築物を試験体として、大変形に至るまでの挙動を明らかにしたこと、これらの保有性能と要求性能を比較しようとした努力、これらに関する多くの論文を国内外に発表したことなど、この分野の研究の進展に多いに寄与したといえる。</p>				